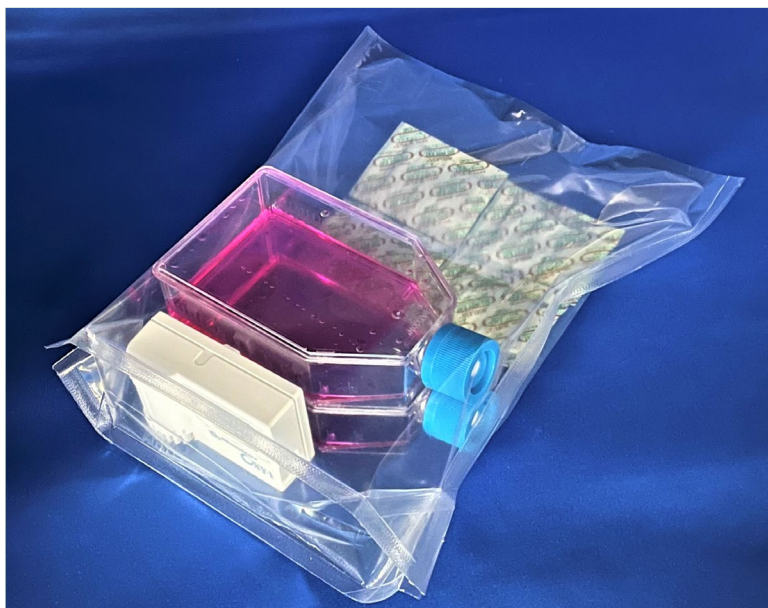


C-Bag-DXキット



コンパクトに脱酸素培養を実現

がん細胞や幹細胞、嫌気バクテリアを簡単に脱酸素環境下で培養するためのキットです。本製品で簡単・低コストに脱酸素環境下での培養を可能にします。ガスバリア素材でできた脱酸素培養袋と脱酸素剤、酸素検知剤の組合せで、シンプルに脱酸素環境を実現できます。



使用方法例

- ① C-Bag-DXに培養プレートまたは培養フラスコを収納、次いで脱酸素剤セット中の脱酸素剤4個と酸素検知剤1個を入れます。
- ② ヒートシーラーでC-Bag-DXをシールします。

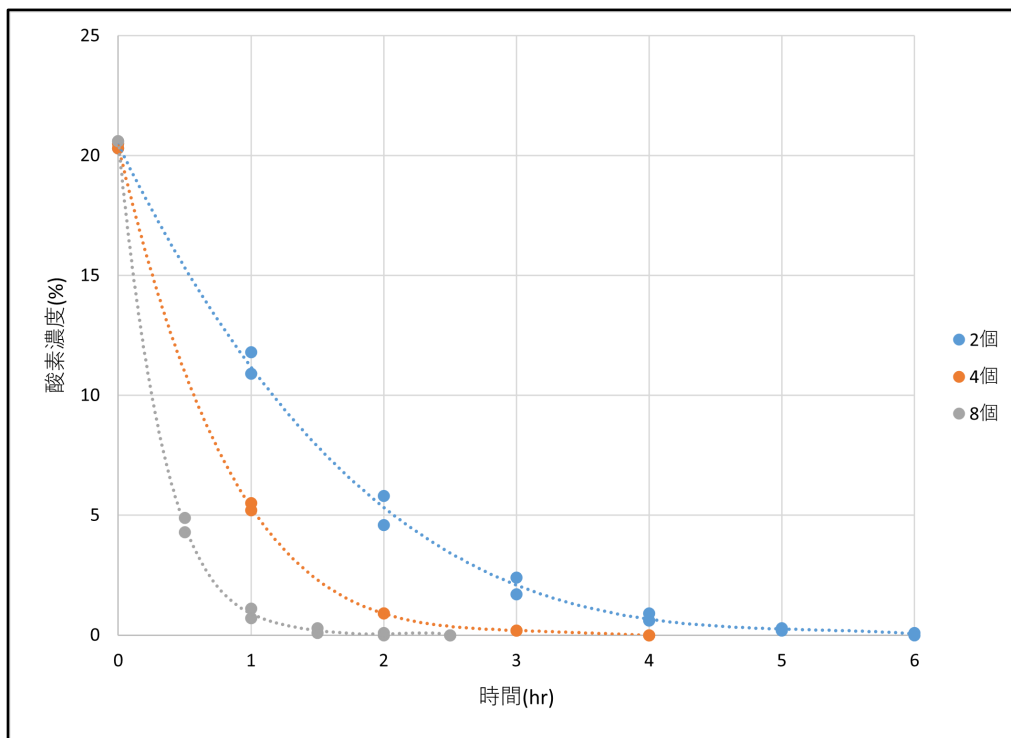
※ 写真の培養フラスコ、簡易酸素濃度計は、本製品には含まれません。

製品番号	製品名	内容・入数	希望小売価格 (税抜/税込)
CRT-610	C-Bag-DX・脱酸素培養袋	開口部の幅230mm、底面部の幅150mm、マチ75mm、長さ300mm 10枚	¥18,500/¥20,350
CRT-620	脱酸素剤セット	脱酸素剤4個、酸素検知剤1個 10セット	¥3,000/¥3,300

特長

1. C-Bag-DXは立体成型されています。1袋内に96穴培養プレートを4段、または250mL培養フラスコは2個、及び簡易酸素濃度計(株式会社イチネンジコー製OXY-1等)を収納できます。余分なスペースを取らないため、インキュベータ内に効率よく収納できます。
2. ヒートシールをすることで確実に酸素の流入を防ぎます。一度シールすると長期間(計算上10年程度以上)脱酸素状態を維持できます。
3. フィルムが透明なため、袋の外から内容物や酸素濃度を確認できます。
4. 1度シールしたC-Bag-DXのシール個所をハサミで開封、内容物を交換後、再シールが複数回(4回程度)可能です。

脱酸素の時間経過



C-Bag-DXに脱酸素剤を2, 4, 8個入れ、ヒートシール後の袋内酸素濃度の時間経過です。
8個使用時は、2時間後に0.1%以下の酸素濃度になります。


注意事項

- 脱酸素培養袋を開封、再シールする際には手早く数分以内で実施してください。
- 脱酸素培養袋内で脱酸素剤が重なると、熱を帯び性能が落ちることがあります。重ならないよう配置してください。
- CRT-620で使用している脱酸素剤は、酸素吸着時に微量ですが水分を放出します。試薬など、水分を避けて収納したい場合には、お問い合わせください。

応用

- 小型の酸素濃度計(株式会社イチネンジコー製OXY-1等)を入れることで、酸素濃度の測定が可能です。
- 脱酸素剤を小型の蓋つきガラス瓶に入れてふたを開閉することで、任意の酸素濃度にする事が可能です。
- バルク品のご希望は、お問い合わせください。(info@confsci.co.jp)

◆ お問い合わせ先

株式会社コンフォーカルサイエンス 

〒158-0081
東京都世田谷区深沢五丁目14番15号
TEL 03-3864-6606 FAX 03-6411-6261

MAIL : info@confsci.co.jp

<http://www.confsci.co.jp/>

◆ 販売代理店

カタログの内容は予告無く変更する場合があります。ご了承願います。(Ver.1 2204)